

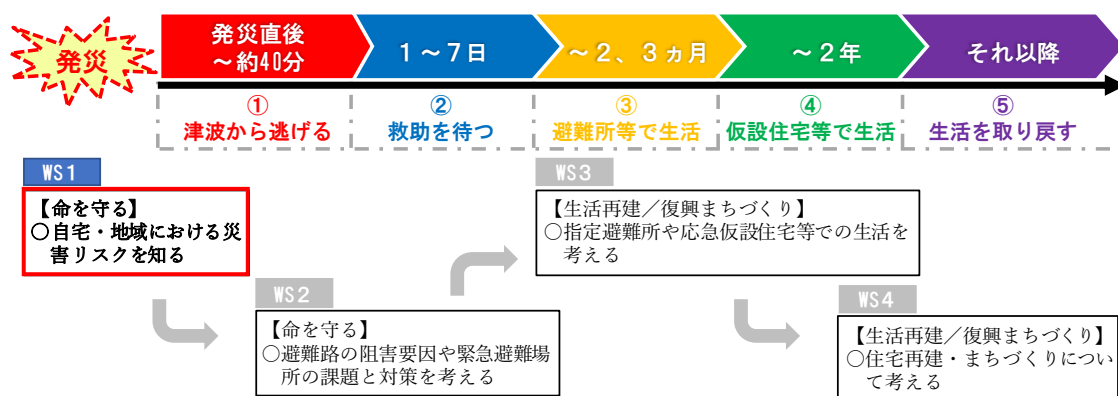
章末資料 7-1：防災復興学習型 WS の開催内容

【防災復興学習型 WS 第1回 WS プログラム】

■テーマ：【命を守る】自宅・地域における災害リスクを知る

■WS の進行

1. 地震・津波による被害のおそろしさを理解する【学習】
2. 自宅の津波被害や土砂災害等の危険性を確認する【ワーク】
3. 地域に起こりうる災害と事前に準備しておくべきことを考える【ワーク】



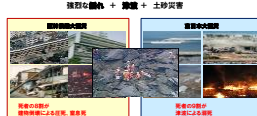
(1) 第1回ワークショップ

テーマ 【命を守る】
自宅・地域における災害リスクを知る

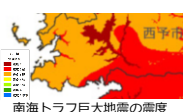
【学習内容】

- 地震・津波による被害のおそろしさを理解する
 - ・南海トラフ地震の被害想定
 - ・動画（東日本大震災の様相等）の視聴

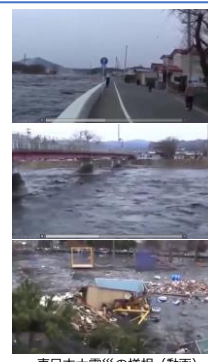
南海トラフ巨大地震の特徴



南海トラフ地震の特徴



津波浸水及び土砂災害



東日本大震災の様相（動画）

(1) 第1回ワークショップ

テーマ 【命を守る】
自宅・地域における災害リスクを知る

【ワーク】

- 自宅の津波被害や土砂災害等の危険性を確認する
 - ・白地図に以下の情報を記入
 - ✓ 自宅の位置
 - ✓ 津波浸水想定区域、土砂災害警戒区域等
 - ・自宅の浸水深・津波到達時間、土砂災害の危険性の有無等を確認
- 地域に起こりうる災害と事前に準備しておくべきことを考える
 - ・地域で起こりうる災害を想像し、その対策についてグループ討議

① 自宅の場所を白地図に記入しましょう。

② 浸水する範囲を描きましょう。

③ 自宅の浸水深を記入しましょう。

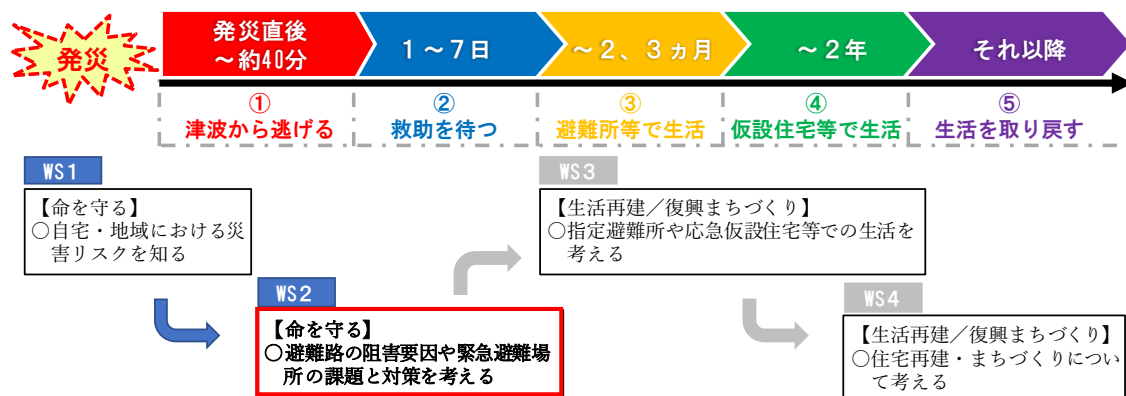


【防災復興学習型 WS 第2回 WS プログラム】

■テーマ：【命を守る】避難路の阻害要因や緊急避難場所の課題と対策を考える

■WSの進行

1. 第1回WSの振り返り
2. 自宅から避難場所までの経路の確認【ワーク】
3. 近所の避難行動要支援者等の確認【ワーク】
4. 避難時の阻害要因の確認【ワーク】
5. 指定緊急避難場所での一定期間の滞在の必要性【学習】
6. 指定緊急避難場所での課題や対策等の確認【ワーク】



(2) 第2回ワークショップ

テーマ 【命を守る】 避難路の阻害要因や緊急避難場所の課題と対策を考える

【学習内容】

- 安全かつ速やかな避難のために必要なことを理解する
 - ・第1回WSの意見も参考にしながら、避難路が閉塞した場合の避難シミュレーション結果
 - ⇒ 自宅等の津波浸水までは、ある程度の時間がある（約40分）ものの、避難路の閉塞等が生じると被害を受ける可能性があることを理解
 - ⇒ 複数の避難場所・避難経路等を想定しておくことが重要であることへの理解
- 避難した後に一時的な滞在が必要となることへの理解
 - ・津波は繰り返し襲来すること
 - ・孤立の危険性（土砂災害等による道路の閉塞）
 - ⇒ 津波の収束や孤立の解消まで津波避難場所等での滞在が必要であることへの理解

避難シミュレーション

救助を待つ 救助を受ける

避難場所での一時的な滞在

(2) 第2回ワークショップ

テーマ 【命を守る】 避難路の阻害要因や緊急避難場所の課題と対策を考える

【ワーク】

- 自宅と避難場所の位置、避難経路の確認と阻害要因等を把握する
 - ・白地図に以下の情報を記入
 - ✓ 自宅と避難場所の位置
 - ✓ 避難経路
 - ✓ 近所の要配慮者
 - ・避難時の支障となる要因（橋、老朽化した空き家、ブロック塀等）やその対策についてグループ討議
- 緊急避難場所の課題と対策を考える
 - ・緊急避難場所での一定期間滞在を想定し、緊急避難場所の課題とその対策についてグループ討議

①自宅に○をつけてください。自宅から避難場所までの経路を書き込んでください。

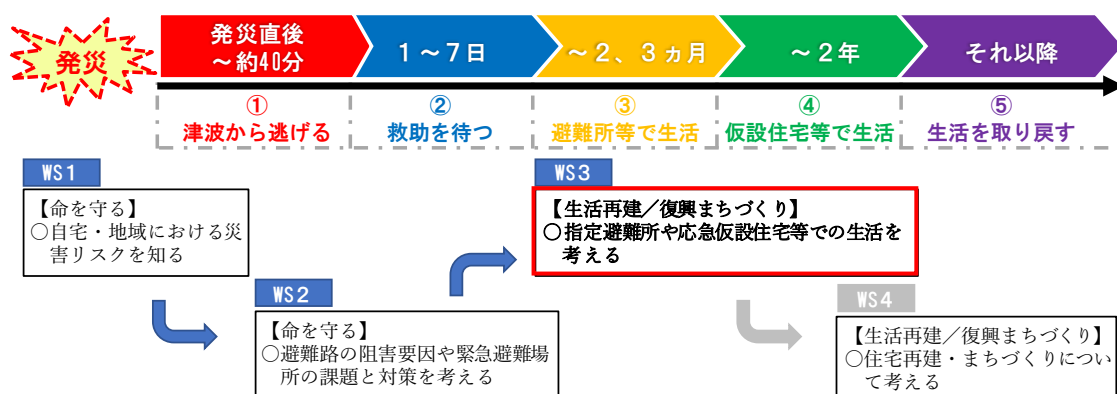
5km未満 5.0~10.0km 10.0~15.0km 15.0~20.0km 20.0~25.0km 25.0~30.0km 30.0km以上

【防災復興学習型 WS 第3回 WS プログラム】

■テーマ：【被災後の生活再建，地域の復興】避難所や応急仮設住宅等での生活を考える

■WS の進行

1. 第2回WSの振り返り【学習】
2. 対策を支援する補助事業等【学習】
3. 地域の魅力（思い出や守りたいもの）の再確認【ワーク】
4. 無事に避難できた後に我々が直面すること（復興までのプロセス）【学習】
5. 生活再建（生活を取り戻したい）の場所を考える【ワーク】
6. 復興プロセスに応じた生活の場を考える【ワーク】

[illegible]

(3) 第3回ワークショップ

テーマ

被災後の生活再建、地域の復興

避難所や応急仮設住宅等での生活を考える

「ワーク」

- **地区の魅力を再確認する**
 - ・ 磯津地区の「思い出」や「災害が起きたても守りたいもの」
- 地区内での生活再建を想定する理由等を再確認させる

- **生活を取り戻したい場所を考える**
 - ・ 生活を取り戻したい場所（地区内での再建or地区外への流出等）やその理由について、個人の意見を整理したうえでグループ討議

(磯津地区で残しておきたいもの) 第3回WS5地区から



- **復興のプロセスに応じた生活の場を考える**
 - ・ 生活の再建を見据えて、それぞれのプロセス（避難期や復興期）に応じた生活の場所等について、個人の意見を整理したうえでグループ討議



1津波から逃げる
2避難所を待つ

～1か月～
3仮設住宅で生活

～2年～
4仮設住宅で生活

それ以降
5生活を取り戻す

地区別	1. 1月の復興期 生活を取り戻す下	2. 2月の復興期を想定する時
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	}
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	}
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	

テーマ

被災後の生活再建、地域の復興

避難所や応急仮設住宅等での生活を考える

「ワーク」

- **地区の魅力を再確認する**
 - ・ 磯津地区の「思い出」や「災害が起きたても守りたいもの」
- 地区内での生活再建を想定する理由等を再確認させる

- **生活を取り戻したい場所を考える**
 - ・ 生活を取り戻したい場所（地区内での再建or地区外への流出等）やその理由について、個人の意見を整理したうえでグループ討議

(磯津地区で残しておきたいもの) 第3回WS5地区から



- **復興のプロセスに応じた生活の場を考える**
 - ・ 生活の再建を見据えて、それぞれのプロセス（避難期や復興期）に応じた生活の場所等について、個人の意見を整理したうえでグループ討議



1津波から逃げる
2避難所を待つ

～1か月～
3仮設住宅で生活

～2年～
4仮設住宅で生活

それ以降
5生活を取り戻す

地区別	1. 1月の復興期 生活を取り戻す下	2. 2月の復興期を想定する時
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	}
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	}
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	

テーマ

被災後の生活再建、地域の復興

避難所や応急仮設住宅等での生活を考える

「ワーク」

- **地区の魅力を再確認する**
 - ・ 磯津地区の「思い出」や「災害が起きたても守りたいもの」
- 地区内での生活再建を想定する理由等を再確認させる

- **生活を取り戻したい場所を考える**
 - ・ 生活を取り戻したい場所（地区内での再建or地区外への流出等）やその理由について、個人の意見を整理したうえでグループ討議

(磯津地区で残しておきたいもの) 第3回WS5地区から



- **復興のプロセスに応じた生活の場を考える**
 - ・ 生活の再建を見据えて、それぞれのプロセス（避難期や復興期）に応じた生活の場所等について、個人の意見を整理したうえでグループ討議



1津波から逃げる
2避難所を待つ

～1か月～
3仮設住宅で生活

～2年～
4仮設住宅で生活

それ以降
5生活を取り戻す

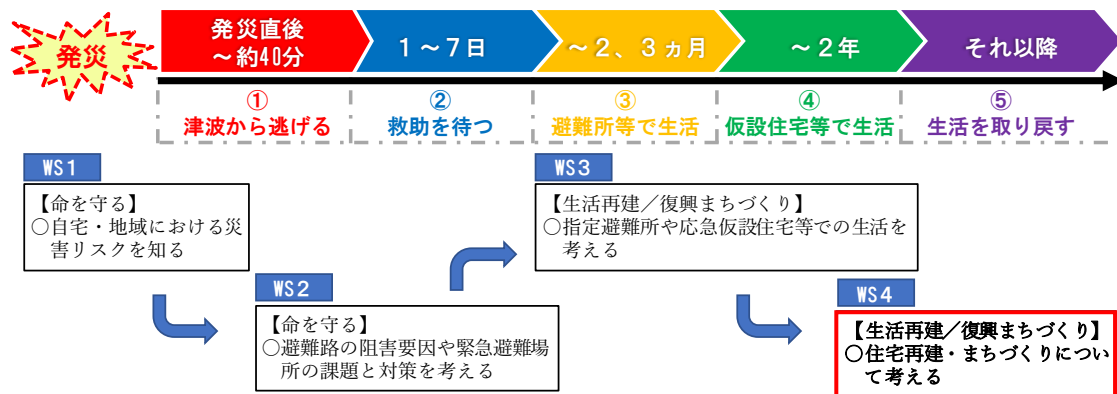
地区別	1. 1月の復興期 生活を取り戻す下	2. 2月の復興期を想定する時
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	}
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
	復興期(仮設住宅) 復興期(仮設住宅)	
(津波被害を受けた地区) 津波被害を受けた地区		

【防災復興学習型 WS 第4回 WS プログラム】

■テーマ：【被災後の生活再建、地域の復興】住宅再建・まちづくりについて考える

■WSの進行

1. 第3回 WS の振り返り【学習】
2. 生活再建への支援【学習】
3. 復興時における住まいの場を考える【ワーク】
4. 仕事の再建のあり方を考える【ワーク】
5. 地域の宝を守るために必要なことを考える【ワーク】



(4) 第4回ワークショップ

テーマ 【被災後の生活再建、地域の復興】
住宅再建・まちづくりについて考える

【学習内容】

- 生活再建への支援を知る
 - ・「被災者生活再建支援制度」等の支援制度
 - ・いずれにしても被災した後の生活再建への自己負担は大きいことから、自己防衛（地震保険への加入等）が重要
- 復興まちづくりで検討しなくてはならないことを知る
 - ・東日本大震災等の復興まちづくりの事例
 - ・住宅・公共施設等の高台移転やかさ上げ、災害公営住宅の整備、堤防整備等

生活再建への支援制度

【東日本大震災の復興の事例では】安全な高台（又はかさ上げ）の確保による居住地の確保

【東日本大震災の復興の事例では】石巻市雄勝地域中心部（伊勢湾地区）の復興デザインイメージバス

東日本大震災の復興まちづくりの事例

(4) 第4回ワークショップ

テーマ 【被災後の生活再建、地域の復興】
住宅再建・まちづくりについて考える

【ワーク】

- 復興時における「住まいの場」を想像する
 - ・自宅が被災を受けたと仮定して、住まいの再建を図る際に、津波リスク（L1津波とL2津波）をどこまで受容できるかの確認
 - ・津波リスクに対する受容の意見を踏まえたうえで、地区における住まいの再建の場についてグループ討議
- 生活のため「生計をたてる方法」を考える
 - ・生活再建のための仕事のあり方、仕事を続けるために必要な支援等についてグループ討議
- 地域の宝を守るための事前復興まちづくり
 - ・第3回WSで意見をいただいた「地域の宝」を守るための取組や事前に行える対策についてグループ討議

ワーク(1) 復興における「住まいの場」を想像する
ワーク(2) 復興をとりもつための支援を想像する
ワーク(3) 地域の宝を守るための事前復興まちづくり